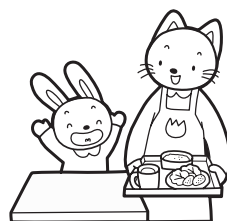


誠心第二幼稚園の給食

*ケータリング方式です

誠心幼稚園では、月曜日と水曜日の給食は、クラス毎に、ご飯やおかずが人数分運ばれてきて、各クラスで食べる分を配膳するケータリング方式で行います。小学校や保育園と同じです。火曜日はお弁当箱に入った給食で、こちらの方は一般的な幼稚園と同じです。（アレルギー対応食もあります）



給食は、温かいものは温かい状態で運ばれてきます。夏に温かいもの？と不思議に思われるかも知れませんが、冷たいご飯より、炊きたての方が断然おいしいです。

特に、寒くなる冬は、温かいご飯、温かいお味噌汁が格別なのは言うまでもありません。

*エプロンママがお手伝い

月曜日と水曜日の給食では、各クラス2名のエプロンママに配膳のお手伝いをお願いしています。20分程度のお手伝いですが、これは強制ではなく希望者のみの参加です。授業参観等では見られない日常の園児の姿をご覧いただけ好評です。エプロンパパも歓迎します。

*独自ラインのオリジナルメニューです

誠心幼稚園の給食は、幼児専門の給食をつくらせている「エンゼルフーズ」に委託しています。そして、ケータリング形式をとっている我が園は、独自のラインで作ってもらっています。3園あわせて700食以上だからこそできるスケールメリットと言えるでしょう。

*安全安心な地産地消を目指しています

姉妹園の誠心相陽幼稚園には畑があります。ここで収穫した野菜（じゃがいも、さつまいも、大根）は、園児が家庭に持ち帰って食べる他、給食にも取り入れます。そうすることで、皆で作った野菜を食べる喜びも味わえますし、野菜が嫌いだった子どもも食べられるようになります。

季節のものを、地の畑でとれたものを食べることは、健康のために非常に良いことです。そして遠い所から運ばれたものと違い、環境にもやさしいものです。

給食の材料を選ぶことができるのも、独自のラインだからこそです。

食材としてできるだけ安全なものを取り入れるため、相陽幼稚園の裏手にある“神奈川農産物供給センター・モナの丘、からも取り寄せています。